

つきいち

月1原発映画祭 + 交流カフェ

～ 映画でみる・知る・感じる原発～



会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）



第10回 2月2日(土) 津軽から加藤鉄監督を迎えて

加藤鉄監督は1995年から4年間、青森県六ヶ所村に通い、『田神有楽』を完成させたあと隣町に移住、ひとり畑づくりの生活に飛び込みました。そして2011年、福島原発事故の1か月半後に飯舘村、南相馬、川内村に入り、『フクシマからの風』が生まれます。この2作品に共通して描かれているのは、原発という巨大な文明の対極で、めぐる季節にそって心豊かに暮らす人びとの姿。そこから私たちはどんなメッセージを受け取ることができるでしょうか？ 各回の上映後に加藤監督を囲んで交流カフェがあります。

【昼の部】開場 13:00 上映 13:30～15:10

フクシマからの風

第1章 喪失あるいは蛍

福島県飯舘村と川内村で、原発事故後も村に残り、山野の自然とつながった暮らしを淡々と続けている人びとを描きます。裏山で山菜や薬草を研究する仙人のような老人、妻を亡くして山奥にひとり住むどぶろくづくりの名人、70年代から続く共同体の村に残り養鶏を営む夫婦など、登場するのは、変化へと勇気をもって一步踏み出していこうとする人びとです。3.11以後の人生の静かなドラマを寄り添うように記録しながら、フクシマ原発事故の問題を、人間が生きていくという原点から見つめます。

(2011年/100分 <http://fukushima.xrea.jp/>)

●交流カフェ 15:20～16:30



【夜の部】開場 17:00 上映 17:30～19:25

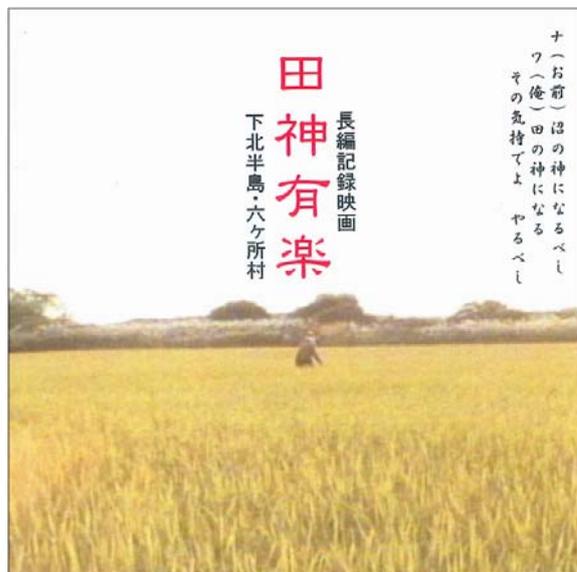
でんしんゆうがく

田神有楽

下北半島・六ヶ所村

青森県六ヶ所村の「核燃料サイクル施設」は核廃棄物の貯蔵処理基地として建設された世界最大規模の原子力施設。1995年4月にフランスから高レベル放射性廃棄物が初めて六ヶ所村に搬入されてからの3年半、揺れに揺れる村の人びととさまざまな出来事を記録する一方、ただひとり土地を売らず稲をつくり、森や神社を守り続ける小泉金吾老人の姿を丹念に追い、その魂に迫ります。土と沼と海に生きる人びとの心と願いをゆるやかな時の流れの中に描いた長編ドキュメンタリー。(2002年/113分 <http://www.minipara.com/movies2002-4th/denshin/>)

●交流カフェ 19:35～20:40



■参加費：昼・夜の部 各500円

[交流カフェは別途飲食代として昼の部は200円～、夜の部は500円～カンパをお願いします]

■定員：昼・夜の部 各30人(要予約)

■申込み方法：以下のいずれかの方法で予約をしてください。

① ひがし広場のHPの申込フォームから

【昼の部】 <http://kokucheese.com/event/index/70052/>

【夜の部】 <http://kokucheese.com/event/index/70053/>

②メール masa5884@y8.dion.ne.jp

(件名を「月1原発映画祭申込み」としてお送りください)

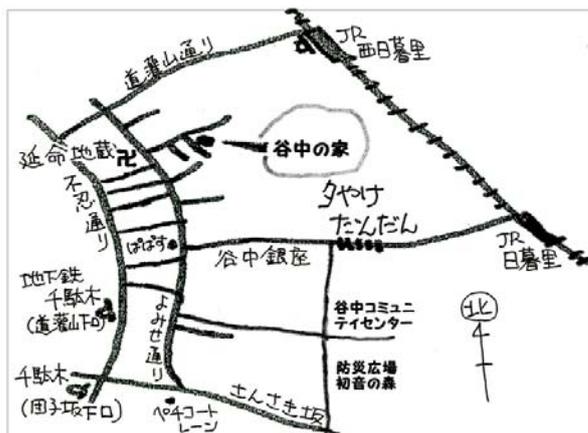
③電話 050-3059-6328 (小林)

■会場：谷中の家(台東区谷中3-7-11)

メトロ千代田線千駄木・JR日暮里・JR西日暮里下車徒歩7分。

よみせ通り、延命地藏を東へ入る、2筋目を南へ入って東側。

※築54年、耐震補強民家のコミュニティ・スペースです。



●加藤鉄監督プロフィール●

1951年生まれ。学生時代より映画を撮り始め、初監督作はPFF入選作品『愛していると言ってくれ』(8mm、1980)。

『寓話・伝令』(16mm、1983)はオーストリア・ブルーデンツ国際映画祭監督賞受賞。脚本も担当した『グッドバイ』(35mm、1989)はATG映画脚本奨励賞を受賞。『ただひとたびの人』(16mm、1993)ではトリノ国際映画祭審査員特別賞を受賞。その後、『田神有楽』(16mm、2002)、『フクシマの風』(HDV、2011)。※劇映画作品については「加藤哲」の名前で発表。

2月1日(金) 19:00～『フクシマからの風』上映
@ JAZZ喫茶「映画館」

ゲスト 加藤鉄監督/田中じゅうこう監督(「ムーランルージュの青春」)/福間雄三監督(「女生徒・1936」「私の青空・終戦63」)

上映後、加藤監督を囲んでお客様との質疑応答。その後、監督3氏によるトークセッション「200万円で誰でも映画が撮れる時代になっています。そんなフリーシネマ派がミニシアターを今占めてきていること。その分内容が吟味されてない、ここから新しい波が出て来るか等々」

■木戸銭 ¥500 + ドリンクオーダー御願います。

■会場：JAZZ喫茶「映画館」(文京区白山5-33-19)
<http://www6.ocn.ne.jp/~eigakan/>

■問い合わせ 03-3811-8932

★今回、加藤監督を招いての上映会は、JAZZ喫茶「映画館」さんとの共同企画で実現しました。

第11回 3月2日(土) 内容は追ってホームページ (<http://www.jtgt.info/>) にてお知らせします

第12回 4月6日(土) 『フタバから遠く離れて』アンコール上映決定！
上映後に船橋淳監督を囲む交流カフェがあります

◆月1原発映画祭とは

毎月1回(第1土曜日予定)、原発に関連した映画・映像を上映し、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供します。脱原発を願う人も、脱原発に疑問を持つ人もお気軽にご参加ください。これまでの開催レポートはひがし広場HPの <http://www.jtgt.info/?q=taxonomy/term/5> からご覧になれます。

◆地域から未来をつくる・ひがし広場(略称・ひがし広場)とは

文京区、台東区、北区、足立区などの地域の住民有志が集まってつくっているネットワークです。原発都民投票条例をつくるための署名活動から生まれました。署名集めから都議会での可決を目指すプロセスで、私たちは1人ひとりが主体的に考え、行動して社会に働きかけていくことの大切さを知り、同時にそれを地域のつながりを生かして進めていくことの楽しさを知りました。"社会の現状を知る、学ぶ、そして変えていくために主体的に行動する"という趣旨のもと、情報交換や勉強会などをおこなっています。

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場
<http://www.jtgt.info/>